

日本ロレアル支援、石巻沿岸で中高生向け学習室 希望のゼミにて、「きらめき教室」スタート！ —美容師、研究者、パティシエなど、人生の先輩が生き方のヒントを語る—

日本ロレアル株式会社
<報道資料>
2012年9月14日

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ(本社:パリ)の日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:クラウス・ファスベンダー)は、NPO 法人フローレンスとともに3月から学習室「希望のゼミ」を、同社が建設した鹿妻地区のコミュニティカフェ“HANA 荘”^{はなそう}(2011年11月開設、敷地:330㎡、建物80㎡、住所:石巻市鹿妻南1-9)にて開講しており、この度、9月16日(日)より、新たに「きらめき教室」をスタートすることになりました。

■HANA 荘での「希望のゼミ」について

HANA 荘では、学習支援で実績のあるNPO 法人フローレンスとの協力のもと、東日本大震災によって塾に行けない、落ち着いて勉強する学習環境がないなど、厳しい環境下におかれた被災地の中学生、高校生を対象に、HANA 荘を自習できる学習室として開放し、無償で進学・受験を包括的にサポートしています。「希望のゼミ」という名称は、被災した中高生たちが将来の夢や進学をあきらめないよう、共に走っていきたいという思いを込めて名づけました。

被災地での学習指導の経験豊富な教師が常駐し、学習に関する質問や、保護者や生徒からの進路・受験相談などに応じます。開始以来、ニーズが非常に高いことから、5月より週2回(土・日)に開講日を増やしています。

日 時: 3月24日(土)開講。現在、週2回(毎週土・日) 16:30~20:30
対 象: 中学・高校生
実 績: 延べ参加生徒数 506名 (中学生463名、高校生43名)
(3月~8月) 石巻市・東松島市内(中学8校、高校3校)の生徒が参加
8月20日(月)~24日(金)まで、夏季講習を実施

■9月から「きらめき教室」新スタート

「希望のゼミ」を通じた学習支援のほか、石巻の中高生たちに将来を見据えた進路選択などに役立つ機会を提供し、人生を切り拓き、自分自身の輝きをみつけられるよう新たに「きらめき教室」を9月16日(日)より実施します。同教室では、美容師、研究者、スポーツ選手、パティシエなど、さまざまな分野で活躍している社会人を招き、仕事のやりがいなど、バラエティに富んだ視点でお話をします。

16日は、陸上男子ハンマー投のロンドンオリンピック銅メダリスト 室伏広治選手(ミズノ)が、被災した中高生を励ましに「きらめき教室」に参加します。新著『室伏広治 超える力』(文藝春秋)をテーマに、さまざまな困難をどのように乗り越えたのか、ハンマーへの想い、オリンピックの秘話などについて語ります。

日 時: 9月16日(日)開講。月2回(日) 15:00~16:00
対 象: 中学・高校生
第2回の9月23日(日)は、元美容師で現在、サロン事業に携わる日本ロレアル社員による講義を実施。



希望のゼミ

HANA 荘について

HANA 荘は、地域の復興・再生を目的に日本ロレアルにより昨年 11 月に建設され、特定非営利活動法人 JEN が管理運営しています。営業は、毎日 10 時から 16 時(休日、祝日含む)まで行い、約 50 名収容できます。また、地域で被災された方を採用し、雇用面でも支援していきます。

開設以来、自治会の会合や地域の方の憩いの場、復興の拠点として地域に定着してきており、集会施設や遊び場としての機能のほか、手芸、ヨガ講座など、地域の方々の様々なニーズを取り入れながら活動しています。今年 3 月からは、中高生を対象とした、学びとカウンセリングの場「希望のゼミ」を開設、現地のニーズを反映し、5 月より毎週土曜・日曜の週二回、開講しています。HANA 荘の訪問人数は、毎月平均 500 人を超え、地域の皆さんに活用されています。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/corp/>)

1963 年から事業を開始し、1996 年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,200 人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、ランコム、ロレアルパリ、メイベリン ニューヨークなど 18 のブランドを展開しています。東日本大震災後、長期的に復興支援に取り組むことを目的に、東北復興支援プログラムを推進しています。コミュニティカフェ「HANA 荘」のほか、被災地を巡回する「ビューティーバス」(移動式美容室)によるヘアカットなどの活動を実施しています。また、各ブランドの売上の一部をパートナー NGO と協力のもと、様々な復興支援活動に展開しています。

フローレンスについて(www.florence.or.jp/)

NPO 法人フローレンス(2004 年設立、代表理事:駒崎弘樹)は「子育てと仕事の両立が当たり前の社会」を目指し、子どもが病気の時に保育園に預かってもらえず、働く親の両立の大きな壁となっている「病児保育問題」解決に取り組む団体。非施設型・共済型という日本初の仕組みを構築し、2005 年より預かり開始。また、ひとり親家庭の平均収入は一般家庭の約 1/3 の約 230 万円、子どもにかかる教育費は約半分と言われ、こうした状況が子どもの高等教育を受ける機会の減少へと繋がっている状況から、2008 年より、収入の少ないひとり親家庭の両立を支援すべく寄付会員制度によって全国から寄付を集め、ひとり親向け病児保育サポートを開始。現在 150 人のひとり親世帯の子どもに病児保育を提供しています。3.11 震災後には、被災地の中高生向け無償学習支援「希望のゼミ」のほか、福島の子どもたちが放射能を気にせず遊べる室内公園「ふくしまインドアパーク」(郡山市)の設立、福島からの避難家庭の子どもを一時的に預かる保育サポートを行ない、被災地の子どもの支援にも注力しています。既にイオンモール石巻にある新教育ゼミナール内、宮城県亘理郡の山元町立山下中学校内でも「希望のゼミ学習室」を展開しており、HANA 荘は3カ所目となります。